



藤屋 侃士
（下松市幸ヶ丘）

70

大航海時代



世界遺産のジエロニモス修道院

先日、友人のお母様が亡くなられ、住んでおられた家を処分された。その際、べつ甲で造った帆船の飾り物を入れた。帆船の入ったショーケースに十字架を入れ、出窓のところに飾っている。

窓から入る風を受けて、べつ甲の帆は私を大航海時代へと誘ってくれる。ポルトガル、スペインの大航海時代、男たちは命がけで未知の世界へと旅立った。

一四九二年、コロンブスの新大陸発見。一四九八年、バスコ・ダ・ガマによる喜望峰を回ってのインド航路の発見。一五一九年から

一五二二年にかけてのマゼランの世界一周（マゼランはフィリピンで先住民に殺されたが、残った仲間が世界一周を達成する）。ポルトガルの首都、リスボンの中心部から西に六〇、ヘレン地区がある。ここには栄光の大航海時代の象徴が集約されている。

馬達太郎が貴婦人のすそを広げている姿にたとえて「テージョの公女」と呼んだベレンの塔。これは船の出入りを監視する要塞として建てられたという。このほかにも国立馬車博物館、考古学博物館、海洋博物館などがあるし、すべてを見るこの地区だけで二日はかかる。

先日、友人のお母様が亡くなられ、住んでおられた家を処分された。その際、べつ甲で造った帆船の飾り物を入れた。帆船の入ったショーケースに十字架を入れ、出窓のところに飾っている。

ある本にコロンブスの新大陸発見にかぎつつこがつけてあった。「新大陸」とは、あくまでヨーロッパ人から見たの表現だ、と。確かにその通りで、その大陸には住民がおり、それを初めて知っただけのことだ。「新大陸発見」はヨーロッパ中心主義の史観である。

ちよつと離れて、司

今、世界遺産の中で最も人気がある南米の

ジエロニモス修道院にあるバスコ・ダ・ガマの棺



空中都市、マチュ・ピチュ。新大陸にあったインカ文明やマヤ文明などは征服者によって破壊されてヨーロッパの植民地にされ、ヨーロッパ繁栄の道具とされた。

キリスト教の宣教も植民地主義の一端を担ったのは事実。歴史は強者の、勝者の歴史で

他者を征服するためではなく、ともに生きるため、帆を高く掲げ、神の風を受けた。い。（元山口放送取締役ラジオ局長）